
死神さんと少女の1年

呉羽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

死神さんと少女の1年

【Nコード】

N5137D

【作者名】

呉羽

【あらすじ】

皆、死神だよ。これからよろしく。

第1話

こんにちわ！！城島恵梨です。

5年2組のごく普通の小学生。

だけど、ある日から死神に、なった。

はーい！魂回収。

死神になったのは、事故で死んじゃたからなの。

でも、生きていた頃の記憶はないの。

もしもその記憶を全部思いだしたら・・・幽霊になるの。

皆に私たち死神は、見えない。

今度1年後に死ぬ人の魂を回収に来た。

その子は、まだ、11歳なの。

名前は、長嶋梨奈。

まだ、若いのにね。

その子の家に行くか。

ここかあゝ。

入ろう。

「あなた誰？」

私、見えるの？

「うん」

なんで

「誰？」

死神だよ。

「えゝ」

「死神さん私に用？」

うん

「何？」

あなたの魂を回収しに来た。

「私、今日死ぬの？」

いいえ1年後よ。

「あと1年」

ねえ、死神さん。

何？

第2話

「私・・・死ぬ前に、小説家になりたい。」

わかった、あなたを19歳の体にする、だから、これ、飲んで。

「うん。」

「うわー!!」

「何これ!!本当に・・・19歳に、なってる!!」。

当たり前じゃない!誰だと思っのよ!!死神よ。

「ありがとう死神さん、死神さんって、優しいんですね。」

違うわよ、だって悔いのないようにしないといけないの。

「へえ。」

あと・・・私前人間だったからね

「死神さん人間だったんだ〜なんで、死神になったの?」

知らないわよ。

「なんで?」

なんでも、もう良いでしょ

「聞きたかったな」

ごめん・・・思い出すと、幽霊になってしまうの

「そ・そうかあーこっちもごめん」

分かれば良いよ

「じゃあ小説書きますか!」

頑張っ

「うん、頑張るよ」

原稿用紙取ってくるよ

「えっ!良いの?ありがとう」

良いよ・・・はい

「書くよ」

「私は・・・です・・・。」 小説

良いんじゃない・・・。

「やった」

1日で、できるなんつてすごいよ、私は、1週間かったのに。

「えっ？やったことあるの？」

分かんない今、やったことある感じがして……。

「そうなの？」

うん

「でも、これどうしよう、書いたけど……。」

出せば良いでしょ？

「出せて言われたって……。」

ああ、出すとないのね

「うん……どうしよう」

探せば良いんだよ

「探すって、できるの？12歳の私が」

今のあなたは19歳なのよ

「あっ！そうでした」

なぜにいきなり敬語？

「気にしない、気にしない。」

じゃあ探しに行こうか！

「おーう」

長い間ごめんなさい
すいませんでした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5137d/>

死神さんと少女の1年

2010年10月15日08時10分発行